

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公表番号】特表2013-533985(P2013-533985A)

【公表日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2013-046

【出願番号】特願2013-518640(P2013-518640)

【国際特許分類】

G 02 B 5/02 (2006.01)

G 02 B 5/30 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/02 D

G 02 B 5/30

C 08 J 5/18 C E R

C 08 J 5/18 C E Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年7月24日(2015.7.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0064

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0064】

前述のように、ゾーン116は、混合層311の少なくとも1つの材料又は相が隣接ゾーン112の複屈折性と比べて複屈折性の一部又は全部を失うように、熱の選択的な適用によって処理されており、それにより、ゾーン116は、混合層の異なる層間の界面における光散乱によりもたらされる拡散反射特性を呈し、これはゾーン112の拡散反射特性と異なる。選択的な加熱プロセスは、ゾーン116に対する選択的な圧力の適用を含まないことがあり、これはフィルムに対する厚さの変化を実質的に生じないことがある(パラメーターd1/d1'又はパラメーターd2/d2'のいずれを使用しても)。例えば、フィルム110は、ゾーン116において、ゾーン112又は非処理のフィルムで観察される厚さの通常の変動を超えない範囲でゾーン112の平均厚さからずれる、平均厚さを呈することがある。したがって、ゾーン116の熱処理の前に、フィルム110は、ゾーン112において、またはゾーン112及びゾーン116の一部を包含するフィルムの領域にわたり、dの厚さ(d1又はd2)の変動を呈することがあり、ゾーン116はゾーン112の空間的な平均厚さd1、d2に対して、dを超えない範囲で異なる空間的な平均厚さd1'、d2'を(それぞれ)有し得る。パラメーターdは、例えば、厚さd1又はd2の空間的分布における、1、2又は3の標準偏差を表し得る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学フィルムであって、

異なる第1の相及び第2の相にそれぞれ分離された第1及び第2のポリマー材料を含む

混合層であって、第1のゾーンから第2のゾーンまで延在し、かつ該第1及び第2のゾーンにおいて実質的に同じ組成及び厚さを有する混合層を含み、

前記第2のゾーンの平均厚さの前記第1のゾーンの平均厚さからのずれは、前記第1のゾーンの厚さの通常の変動を超えない範囲であり、

前記第1の相及び第2の相の少なくとも一方が連続相であり、該連続相と関連する前記第1のポリマー材料及び／又は第2のポリマー材料が、前記第1のゾーンにおいて複屈折性であり、

前記第1のゾーンにおいて、前記混合層が第1の拡散反射特性を有し、

前記第2のゾーンにおいて、前記混合層が、前記第1の拡散反射特性と異なる第2の拡散反射特性を有し、

前記第1の拡散反射特性と前記第2の拡散反射特性との間の違いが、前記第1のゾーンと前記第2のゾーンとの間の、前記第1のポリマー材料または前記第2のポリマー材料の少なくとも一方の複屈折性の違いに実質的に起因し、

垂直入射非偏光可視光の下で、前記第1の拡散反射特性と前記第2の拡散反射特性との間の差が、少なくとも10%である、

光学フィルム。

【請求項2】

前記第1の拡散反射特性及び前記第2の拡散反射特性の少なくとも一方が、異なる偏光の垂直入射光に関する実質的に異なる反射率によって特徴付けられる、請求項1に記載のフィルム。

【請求項3】

内部パターン化光学フィルムの製造方法であって、

異なる第1の相及び第2の相にそれぞれ分離された第1及び第2のポリマー材料を含む混合層を含むフィルムを提供する工程であって、前記混合層が前記フィルムの第1及び第2のゾーンの両方において第1の拡散反射特性を有し、前記第1の相及び前記第2の相の少なくとも一方が連続相であり、前記連続相と関連する前記第1のポリマー材料及び／又は前記第2のポリマー材料が前記第1のゾーンにおいて複屈折性である、工程と、

垂直入射非偏光可視光の下で前記第2のゾーンが前記第1の拡散反射特性と少なくとも10%異なる第2の拡散反射特性を呈するのに十分な量で前記第2のゾーンの前記フィルムを選択的に加熱する工程であって、前記選択的加熱は、前記混合層の外表面の実質的な改質なしに適用される、工程と、

を含む製造方法。

【請求項4】

請求項1に記載のフィルムを含む物品であって、ID資料、セキュリティ物品、ディスプレイ、バックライト、及び光電子装置からなる群から選択される、物品。